

財政・社会保障の持続可能性に関する「経済分析ワーキング・グループ」
中間報告（イメージ）

本中間報告は、財政・社会保障の持続可能性に関する議論の中で主な論点と考えられるものについて、本ワーキング・グループの構成員が共有できる標準的な見解を示すことを目的とするもの。

1. 財政健全化と景気・経済成長との関係についての考え方

- (1) 成長、物価上昇により財政健全化を行うとの考え方について
- 税収弾性値の大きさについての考え方
 - 物価上昇、成長が財政収支に与える影響 など
- (2) 消費税率引上げと景気動向との関係について
- 過去の引上げの影響
 - 独、英の付加価値税率引上げの影響
 - 引上げのタイミングと引上げ方 など

2. 格差問題についての考え方

- (1) 消費税の逆進性への考え方について
- 生涯所得と一時点の所得
 - 逆進性への対応
 - 税制・社会保障全般の見直し（給付付き税額控除を含め）との関係 など
- (2) 格差問題への対応について
- 我が国の格差の現状
 - 格差の見方、受益と負担
 - 税制・社会保障制度の改革が所得分配に及ぼす影響 など